

木蓮

ユト大麻子ノ如シ子熟シテ苗根共ニ枯ル、

〔草木育種後編下品〕葎草ハハコノ一種 和蘭にてホッペといふ葎草一種にて葉に又なくして、楮コノゾの

葉に似たり、草に雌雄あり、莖葉ともに毛刺あり、花をとりて薬用とすべし、

〔和爾雅〕木蓮イタヒ 鬼饅頭キマシロ 木饅頭キマシロ 並同、

〔倭訓栞編二〕いたび 木蓮子をいふ、日本紀、倭名鈔同じ、即木饅頭也、花なくて實を結べり、今俗

蔓生の木蓮を訓ずるはあらず、延喜式に諸國雜贄腹赤魚木蓮子等と見えたり、

〔大和本草〕藤ハハコ 藤ハハコ 也、木饅頭ト云、其葉木犀ニ似テ其實無花果ニ似タリ、其蔓コハシ、本

草ニ木蓮ト云、其實八月以後中實ス、八月以前ハ實ノ中虚ナリ、熟シテ味甘シ、小兒食ス、マサキノ

カツラト訓ズルハ非也、舊事記日本紀ニ木蓮子ヲイタミト訓ズ、數年ヲヘテ後葉厚大ニシテ實

ナル、小ナルハ大ナルト別物ノ如シ、壁ニヒロク延蔓ハビコル、

〔重修本草綱目啓蒙〕木蓮イタミ 日本イタミ 延蔓ハビコル、イタミカヅライタミ イスタブイタミ キマンヂウイタミ

チ、デヨ、江州 一名木蓮蓬イタミ 石蓮蓬イタミ 羊兒藤イタミ 桑上羊兒藤イタミ 爬城草イタミ

南寧 無花果イタミ 本洞證

山野ニ生ズ、葉木樨イタミニ似テ厚硬鋸齒ナシ、深綠色互生ス、冬ヲ經テ凋マズ、其藤纏繞セズ、物ニ倚テ

蔓延ス、地錦ノ蔓ノ如ク木石ニツキテ鬚根ヲ生ズ、蔓ノ末ハ枝ヲ分テ下垂ス、花無シテ葉間ニ實

ヲ生ズ、形天仙果イタミノ如シ、秋ニ至リ熟シテ黒ク、柔ニシテ味甘シ、中空シテ細子殻ニツク、一種實大

ニシテ一寸許ナルアリ、肥前ニテクヒイタビト云フ、又紀州ニ小葉ニシテ大實ヲ結ブ者アリ、ク

ラ、イタボト云フ、又一種圓葉ノ者アリ、

木蓮ニ同名アリ、此條ハ木蓮房ノ略ナリ、實ノ形ヲ以テ名ク、木芙蓉イタミ木蘭イタミニモ木蓮ノ名アリ、コレ

ハ花ノ形ヲ以テ名クルナリ、